

普及活動情勢報告（令和8年9月分）

須崎農業振興センター高南農業改良普及所

技術を情報共有しよう！ ～夏秋ピーマン現地検討会～



8月31日、J A高知県四万十夏秋ピーマン生産部会が現地検討会を開催し、生産者10名が参加しました。

農業改良普及所からは、細霧装置のハウス内環境への影響や新品種の栽培状況について説明し、高温対策の実施を呼びかけました。

参加者からは「今年は晴れが続いたことで奇形果の発生が目に見えて多い」、「細霧装置や遮光ネットの導入を検討していきたい」という意見があり、積極的な情報交換ができました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と協力して夏秋ピーマンの生産振興を支援します。

ニラで細霧装置の冷房効果は？ ～ニラ部会での研修～



9月1日、3日、8日、J A高知県四万十ニラ部会が支部会を開催し、部会員29名が参加しました。

農業改良普及所からは、8月から細霧装置を導入したほ場の温湿度の推移やサーモカメラの画像を提示し、高温対策の一つとして有用である可能性を説明しました。

参加者からは「毎年夏場は暑いため、導入した方がいいのでは」、「葉先焼けに効果があるなら入れる価値はある」といった意見が出されました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と協力してニラの生産振興を支援します。

食文化を継承しよう！ ～昔野菜の畑作り・種まき体験学習～



9月10日、11日、四万十町立十和小学校で4年生10名が昔野菜（昔カブ、昔ダイコン、昔高菜）の畑作り・種まきを体験しました。

農業改良普及所は、土作りやマルチ張り等のほ場準備、播種、播種後の管理、間引きや除草などの作業について説明しました。

児童からは「クワの持ち手を使ってマルチが張れるって初めて知った。やりたい」、「種が小さいけど芽が出るろうか」などの声があり、興味をもって作業に取り組んでいました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と共に、栽培管理の助言を通じて食文化の継承を支援します。

5年先の組織と地域を考えよう ～集落営農の研修～



9月11日、高南地域営農協議会企画・担い手部会が、高南地域集落営農組織代表者連絡会を開催し、集落営農組織の代表者等33名が参加しました。

農業改良普及所は、水稻栽培についての情報提供を行い、5年先の組織と地域についてのグループワークで意見だしととりまとめ等を支援しました。

参加者からは「今後本当に農地の維持が難しくなってくる」、「このような会で他の組織の意見を聞くことができてよかった」という意見がありました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と協力して、集落営農組織の活動を支援します。

高温対策に細霧冷房を活用しよう ～ミョウガ部会での研修～



9月15日、JA高知県四万十ハウスミョウガ部会が通常総会を開催し、部会員19名、関係機関職員12名が参加しました。

農業改良普及所からは、令和8園芸年度の気温・日射量のふり返りから高温対策の必要性を改めて周知しました。また、高温対策として管内で普及しつつある細霧装置の特徴やその効果について説明しました。

参加者からは、「年々暑さが厳しくなっている。次作は遮熱塗布剤を試してみたい」、「細霧装置を導入して、葉焼けがなくなり樹勢が回復した」といった意見が出ました。

農業改良普及所は、今後も関係機関と連携し、新技術の情報収集や効果の検証に取り組めます。